

2019年12月7日 ~ 2019年12月13日

2019年12月17日

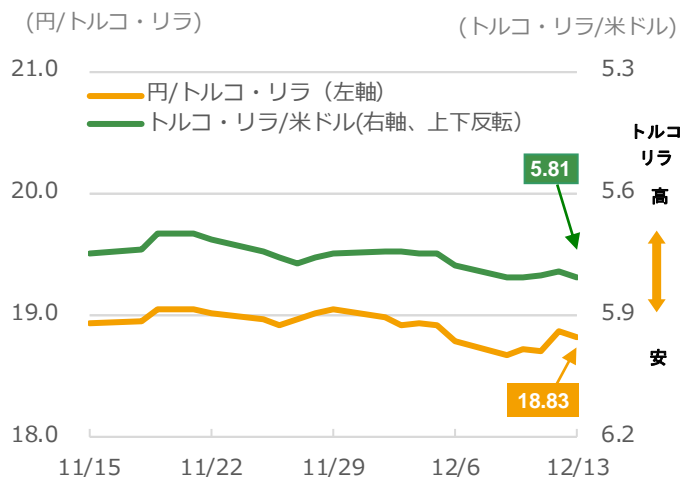
先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドルで下落し、対円では小幅に上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

トルコ中央銀行は12日（現地）、政策金利を14.00%から12.00%に引き下げました。市場が予想していた利下げ幅よりも大きな利下げとなったものの、為替市場の反応は限定的となりました。外部要因では、米中通商協議の進展への期待により米ドル高が進行しました。その結果、トルコ・リラは対米ドルで下落しました。国債金利は利下げを受けて低下しました。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年11月15日~2019年12月13日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

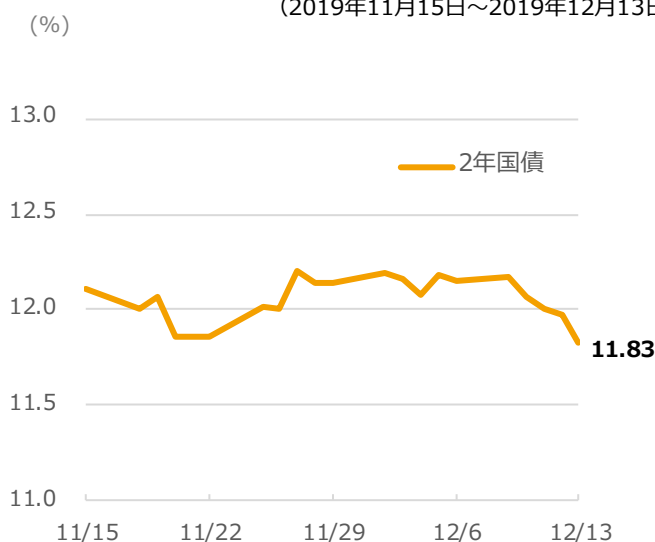
今週の見通し

今週は財政収支などの経済指標の発表が予定されています。対米関係では11日（米国時間）に米上院外交委員会がトルコ制裁法案を可決したことから、エルドアン大統領らトルコ政府による反発が強まっています。制裁自体は影響が限定される内容ですが、今後も懸念材料として市場関係者に意識される可能性があります。

ただし、米中通商協議で両国による第一段階の合意が得られたことから、足元は市場のリスク選好的な姿勢が継続すると考えています。今週のトルコ・リラは、上値が重い一方で、底堅い展開になると想定しています。

トルコ 金利推移

(2019年11月15日~2019年12月13日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。